

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	へき地等勤務希望医師の再就業支援研修事業		事業開始年度	平成17年度	作成責任者	
担当部局庁	厚生労働省医政局		担当課室	医事課	医事課長 村田 善則	
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助		関係する計画、通知等	・平成21年3月30日医政発第0330010号「へき地保健医療対策等実施要綱の一部改正について」 ・平成21年7月3日厚生労働省発医政0703第8号「医療施設運営費等補助金、中毒情報基盤整備事業費補助金及び第三者病院機能評価支援事業費補助金の国庫補助について」		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	へき地や離島においては、恒常的な医師不足が大きな社会問題となっているが、医師が当該地域への勤務を敬遠する理由として、①すべての医療に精通していないため、へき地や離島における診療に対する不安がある、②閉鎖された地域において、医療に関する情報不足に不安があること等があり、これらの不安を解消し、地域医療へ従事する医師の確保を図るため、へき地等勤務希望医師の再就業のための研修等の充実強化を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域医療へ従事する医師の確保を図るため、医療機関を退職した医師に対し、再就業を支援するための再教育事業を実施する。 ・第1ステップ(初期研修)：研修病院にて総合医としてのローテーション研修等を実施(3~6ヶ月)。 ・第2ステップ(就業研修)：研修病院に在籍し、体験的に代診業務等を行いながら、勤務先医療機関の実状を把握し、就業先を検討する(3~6ヶ月)。					
実施状況	平成19~21年度の受講者数 ・平成19年度：19名 ・平成20年度：21名 ・平成21年度：24名					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	12	9	-	-
	執行額	12	12	9		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	12	12	9		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	当該事業については、今後は社団法人地域医療振興協会において自主運営していくこととし、平成22年度より国からの補助を廃止した。				
予算監視の効率化	本事業の必要性を検討のうえ、平成21年度をもって廃止している。					
補記						

厚生労働省  
9百万円

[補助金の交付決定]



A. 社団法人地域医療振興協会  
9百万円

[へき地等勤務希望医師の再就業支援研修事業の実施]

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。用途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A. 社団法人地域医療振興協会			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
謝金	研修講師謝金	8			
その他	研修講師旅費、携帯用プロジェクター購入代等	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0